
走る男

我龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

走る男

【Nコード】

N3669E

【作者名】

我龍

【あらすじ】

平凡な日常を過ごして来た男の、ちょっとした冒険のお話。

何気ない朝

いつも通りの時間に目覚めいつも通りのリズムで歩きいつもの時間に会社に着く。

毎日に、何の変化も求める気はないし変えようとも思わない。

平凡に人生終わればいい、だって面倒くさいからね、生きてるだけで・・・。

最近のニュースでも

自殺、痴漢、政治家の・・・この繰り返しでうんざり してくる。

みんな、色々な物に染まり過ぎ、影響受けすぎ、死に過ぎ、「死」って何？

「生きる」の反対か？

じゃあ、辛い事があれば 楽しい事が待ってる？

などなど、仕事中考える事が多くなった、しかもそれが「楽しい」完全に

俺、病気です！

こんな1日があたり前の様に過ぎて行く、気が付けば俺も三十代後半、工場勤務の平社員、機械に囲まれ、額に汗しながら淡々と仕事をこなす。

この繰り返しがもう十年以上も続いた、今日もいつもの様に、会社の就業のチャイムで妄想から目が覚める。

今日は、特別暑かった、現場の温度と、外の気温差でめまいがするほど、まだ

5月だと言うのにウンザリだ、仕事の帰り道に行きつけの立ち飲みやで一杯が俺のお決まりコース。

これでいつもの平凡な1日の終わり・・・のはずなのだが、いつもやっているはずの立ち飲みやが今日は閉まっていた。

会社から、立ち飲みやまで歩いて十分、そこから家まで歩いて二十分、丁度家に着くまでに、ほろ酔いなのだが、店は閉まっている・・・
・どうする俺？

少し考えた、今日はいつもとより暑く、のどはカラカラ、絶対に一杯目のビールはうまい・・・。

しかし店は閉まってる・・・俺は、いつもと違う行動を極端に嫌う、しかも俺の

住んでいる所は、田舎で

駅一つ分は歩かないと飲み屋すらない様な所なのだ。

俺の中の「生きる」とは、今、この瞬間から「生きる」に確実に変わった。

きっかけは、どうでもいい「この一杯に賭ける」

おかしい話だが、今熱い物が込み上げて来た、いつもの平凡な1日の終わりが、俺の中では、これから1日の始まりに思えた！

大げさかもしれないが、俺には非日常的な出来事なのだ！
そして俺の足は次の目的地を目指し進んでいた。

夕方だというのまだ明るくとにかく暑い・・・次の駅まで歩いて、三十分・・・もうすでに汗だく、のどの渇きも限界一步手前・・・

その時頭に浮かんだ言葉が「死」って何だ？

「生きる」って何だ？

「退屈」って、「平凡」

って、熱さと、渇きで次第におかしくなっていって行った。

気が付けば、何故か走っていた、もうとっくに次の駅は過ぎ、目的も見失い、のどの渇きも気にせず全力疾走、着ていた上着も脱ぎ、二駅分は軽く走った。

日も暮れ、辺りはすっかり暗くなり俺は、走るのを止めた。

結局、三駅目で電車に乗り家路に着いた。

帰る途中に買った缶ビール、もう生ぬるかったが、一気に飲み干した、自然と笑顔になった、何年ぶりだろうかこんな自分、明日も、平凡な一日が始まるが、

いつもの、一日にこれからは「もしかして・・・」も入れてみよう。それから、何かに迷ったら「走る」これで行こう。

（後書き）

今回、初めて小説を書いて見ました、自分の生活に照らし合わせて
一歩踏み出せよ俺・・変わろうよ俺と言う意味でも書いて見ました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3669e/>

走る男

2010年11月14日00時12分発行